

發行兼編輯人 川崎文治

# 常磐日報新聞

定部金貳錢  
一ヶ月卅圓  
三ヶ月九十圓  
半年一百八十圓  
一年三百六十圓

廣告費  
第一版每行一日五錢  
第二三版每行一日三錢  
第四五版每行一日二錢  
長期廣告另議

印刷所 本報印刷部

電話六三〇番

八月十九日 刊夕日九十月八

和洋銅鐵 釜屋商店  
磐城平町五丁目電話一九三九番

外科内科 産婦人科 花柳病科

平町鎌田町 金成醫院  
電話三五八番

眞品廉賣に勝る商標なし

確買敏捷は貴族の生命なり

アイ子イ店 良信ヲ安ク賣ル

クースーリ

関内薬舗 薬剤師関内助助 電話四〇番

### 電話開設御披露

今般電話架設開通仕候間是非御利用の上倍舊の御愛顧御引立の程奉懇願候

六三〇	橋町	長
六五七	田町	眞木法律事務所

常磐毎日新聞社

#### 新聞に貞操なし

山本正巳

またかくして純真な氣持で新聞に親しみ之れを信じて之を我日常の良友とよぶことが出来る。

既に今日米國流の大仰な多産主義的新聞經營の時代は去りつゝある、今後に所期せらるべきは新聞の單化である、精神化である單なるシンプリフイケーションでなく復雜と多量とを要約し之に一種の力を加味したものである即ち力とは政黨的

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 看護婦會  
電話三〇七番

大谷時計店  
平町三丁目電話一九九番

夏帽子 洋傘

大谷洋品部

治明製菓社

代店 ヤトモ

看護婦派出の求めに應ず

#### 世の新聞、編輯、記事に

從事する人々よ、新聞は善きおもしろき報道を以て社會民衆を樂しましむると共に自ら善事を實行する團體である云ふ自覺が君方に幾分でも残つてゐるならば凡ての社務にとりかゝる前に一分でも半分でもいゝ左の一課題を自疑せられむことを一、「新聞記事は何のために集録してゐるか」私がこの現代新聞攻撃の一篇を取寄する所以は新聞はその經營に基礎が出来てくればくる程、その有機的作用が増進し之を利用することもまた之を悪用することも極めて容易となる

森本盛一

小僧さん入用(有聲座隣) 喰べてたいしい

遠藤パン

代價拾錢 藤田家傳

許官正明丹 藤田榮助

白銀町 住宅向 七圓五十錢  
商店向 十圓  
仲間町 住宅向 十二圓  
商店向 十六圓五十錢  
應匠町 二階住宅向 十圓  
櫻町 住宅向 十八圓  
貸地 舊城跡本丸、二丸  
賣地 五丁目表通り

加藤營業所  
平白銀町電話三二番

清酒 鶴仙 松吉屋本店

醸造元 石城郡平窪村  
電話二四一番

森試食用ビスケット  
高級ビスケット拾種類罐入

一罐特價二十錢

ヤトモツマ  
番四一二電

手拭、消防被服 專染所

印半天、風呂敷

小店員 募集

平町五丁目  
吉田染屋工場  
電話五五八番

### 初秋の夜を彩る 盆踊りや焚き火

#### 平署の取締方針は

傳統を尊び機宜の手加減  
冷涼水の如き初秋の夜を、ユルモラスな盆踊りと靈まつる店さきの聖火(?) 孟蘭盆と云ふ

#### 年中行事

からこの二つをとつてしまつたなら如何に寂しくアツケないものであらうか、孟蘭盆三日間饅頭、冷麩、素麺そうじたものは蓋しごうでもよい、それを飽喫するよりもまづ踊らねばさうして十三日の迎え火以降焰々たる篝火をたかねば

#### 更に盆

の情調は湧いて来ない、而も極めて追憶に富めるとして物語りめいた所謂傳統に對する反感の子は初秋の夜を彩る焚き火が以ての外の危険であり、放膽なる踊りの歌詞や道化た踊り子の變装が之亦公安を害すとあつてやれ場所の指定だやれ時間の制限だとかうした問題は

#### 年々歳々

の盆前に論議されるが例であるが今年の取締方針に就て櫻村平署長の意向を叩くと「焚き火の方は消防の幹部等ともよく打合せて一般の氣を悪くせぬ程度で機宜の警戒をしたと思ふ、踊りなども真に已むを得ぬ場合を除き出来るだけその歡興を殺がぬようにする方針である、要するに事情のゆるす限り傳統とか因襲とか云ふ

#### 一日一言

平町役場庶務主任  
花澤文庫氏

昨日立町の一種貧者を調査に行つて来た、これが無類飛び切りの大酒呑みで五十歳以上にもなるのに妻子もない、突然中風症に襲はれても看病する者はなく獨り轉がつて居たセンベイ蒲團の枕元に現金卅四銭在中の破れ墓口一個是れが彼の全財産です

#### 公會堂跡に 庭球場を

#### 南町青年團が

平町南町青年分團にては郡役處傍らの公會堂跡の空地を修繕してテニスコートを作り一般人の競技を觀迎する由にて修繕工事の爲め近く分團員全部が出勤する筈

#### 憂慮される 出水後の傳染病

平町は例年夏期に入るに及んで傳染病者續出するので

### 大震災を追想し 舊盆祭に勤儉奨励

#### 平町の實行週間

平町にては舊孟蘭盆會が一年の大震災に相當する爲め此機に際して一般に勤儉思想を普及すべく九月一日より一週間左記の如く勤儉の實行期間となし特に婦人の日常生活及び家庭經營に關して一層の徹底を期す由(九月一日)奉仕日(二日)節約日(三日)節酒日(四日)節煙日(五日)勤勞日(六日)能率増進日(七日)貯金日

#### 所得の決定 に就いて

#### 稅務署の宣傳

平稅務所管内(石城郡一圓)



家庭欄

#### 西瓜の選び方

西瓜の選び方は非常にむづかしいものです。温室のスイカや、促成の西瓜は重いのよりも軽いものを良とし

#### 常磐片々

#### 盆踊りの時節目前に到來

若い衆達よ用意はよいか

躍れ、唱へ、天下晴れての大觀樂境を描き出せ

如何に不景氣でも盆踊りに遠慮は無用

是れ天與の大慰樂!

總べての拘束から開放された自分の姿を踊り其ものの中に發見せよ

躍れ、唄へ

#### 桑園冠水して 秋蠶五割減

#### 植田方面が

既報十四日來の豪雨のため石城郡山田村、錦村、川部村、植田町、等は秋蠶飼育上に多大の支障を來した

#### 即ち前記

一町三ヶ村は低地であるため桑園約二百町歩は殆ど冠水し僅に上部二三寸位しか水面に出でないので摘葉に頗る困難を生じ各戸共船いかだ等にてこき廻り僅に日二三回づつ

#### 給葉して

ある有様でこれたため繭の品質上に

#### 不平受付

公園に納涼設備 公園は町民の唯一の慰安場でなければならぬ、然るに松ヶ岡公園は夏になつても別段に納涼の設備が構はられてない。今年はおもひが来

#### 計畫具体化

#### 經費分擔協議

平町に於ける撒水自動車の計畫は當時處報の如くであるが愈々具体化するに至り廿日午前十時から各區長が役場に參集して經費分擔其他に關する協議を爲す事となつた

#### 撒水自動車

得たいと思ひます、それでも尚得心のゆかぬ方には救済の手段をお示しいたします

#### 平町人事

#### 出生

△南町五團 山村留七氏二男光司  
△鐵道官舎 今野賦氏長男勝夫  
△一丁目四二下 駄職西山秀吉氏  
△石城郡内郷村大字御殿野 木メ(三)

#### 婚姻

△月見町二〇 土工職松本春秀氏  
(三二)同松本クラ(二六)

#### 電話開通

電話開通 披  
番六三〇番  
既に通話が許されてあるのですから急用には電話を御利用願ひます  
常磐毎日新聞社  
川崎文治

#### 兎の耳

大蛇に抱きついて十八日午前九時頃群馬縣佐波郡伊勢崎町川久保矢澤庄吉が、同町永久橋下流で砂利を採取中松丸太が流れて來たので引揚げやうと抱きついた所、驚くべしそれは胴廻り二尺餘長さ一丈餘の大蛇で同人は人事不省に陥り附近のものが總出で捕獲すべく努めたが大蛇は傍の雑木林内に隠れた、洪水の爲めに流れて來たものらしく青年等は近くオロチ狩り

#### 聯合庭球大會

石城郡勿來小學校主催にて廿一日午前九時より同校庭に於て茨城縣多賀郡及石城郡各町村庭球俱樂部を招待し大庭球試合をなすと因に同町

#### 採鮑競技延期

十四日午後一時より開催せられた植田町小濱優漁者及び優等採鮑者表彰式は水野水産會々長及び雙葉遠藤郡長小野植田助役臨席の舉行され式後來賓歡迎の採鮑競技は暴風のため延期した

#### 探鮑競技延期

も多大の影響を與へるらしいが目下當局の調査によれば約四割乃至は二割の減收であらうと